白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

# 酪農だより

Vol. 720
令和４年１月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」ー酪農家の心を食卓へー

**今月の特集**
年頭あいさつ
各部長今年の抱負
**各種活動レポート**
**指導課通信**
**大山乳業農協からのお知らせ**

新謹
年賀

今年もよろしく
お願いいたします

# 新年のご挨拶

代表理事組合長
小前　孝夫

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様をはじめ、職員、関係者の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より組合運営に各段のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、組合や各組織の会議や催しなどが中止や縮小、オンラインでの開催など対面で接する機会が少なくなり、もどかしい気持ちが続いています。推進委員会も開催できない月もありましたが、動画を配信し地区連絡会や8月から希望の方にはオンラインでご覧いただくことで組合からの報告・伝達事項の説明に役立っています。

コロナ禍により変わらざるを得ないことも失うことも多いいわけですが、気づくことや推進しようとする事柄に早く着手するきっかけにもなっています。アフターコロナに向けての準備も始めなくてはなりませんが、次々と発生する変異株によって、まだまだ収束は見通せない状況にあり感染予防の徹底とコロナと共生していくための取り組みが重要であり積極的に進めて参ります。

全国においての酪農・乳業ですが、生乳生産は全国各地で取り組んできた生産基盤維持強化対策の成果などにより前年を上回って好調に推移しました。一方、消費の面では、続くコロナ禍の影響は大きく、インバウンド需要の喪失や外食抑制などにより牛乳・乳製品の需要は大きく減少しました。結果として、余乳発生により乳製品在庫が過去最高水準に積み上がっており、不足基調で推移してきた生乳需給環境が一変し年末年始や春休み期間において、処理できない生乳が発生するのではと懸念される程の状態となっています。

この様な背景を受けての、組合の状況でありますが、生乳生産量は、60,512ﾄﾝと一昨年に続き酪農ビジョンに掲げている6万ﾄﾝを達成することができました。また、乳業事業においても、製品販売高を目標達成することができました。コロナ禍の影響により消費の減少する中にあって生産、販売共に順調に推移できたことは、生産維持と良質生乳への高い意識と、安全で安心していただける製品作りへの拘りなど、組合員、職員、一丸となって育て上げた「白バラブランド」の力であり、日々のご尽力に感謝申し上げます。また、鳥取県やJAグループをはじめ、多くの方々に消費拡大へご協力いただいた感謝を忘れてはいけません。

今年は酪農・乳業にとって大きな課題を背負ってのスタートとなります。乳製品の過剰在庫解消についてでありますが、国、酪農・乳業が一体となった取り組みが求められています。大山乳業は乳業プラントを有する専門農協であり、生産された生乳を預かり安定的に消費者へ製品を供給することが使命であります。その役割をしっかり果たし、安心して生乳生産できる環境づくりに努めて参ります。この様な厳しい状況もコロナウイルス感染による禍いで一過性の事であると信じ、需要が一刻も早く回復する事を願い、連携してこの難局を乗り切って行きましょう。

年頭にあたって、今年のテーマは「示す」と致します。

表示、指示の「示」であり、相手に分かりやすく示す、という意味です。マスクによって表情が見えなく理解しづらいこともあろうかと思います。積極的に自分を表現しましょう。それが、コミュニケーションに繋がり良き和が生まれると思うからであります。

組合としても第8次中期経営計画の2年目として飼料倉庫移転に伴う指導体制、デザート工場、市乳部門の製造販売体制など方向を示す年としたいと考えており、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げて、新年のご挨拶と致します。

# 新年のご挨拶

鳥取県農林水産部畜産振興局
局長　岡垣　敏生

新年あけましておめでとうございます。

一昨年から続いた新型コロナ感染が昨年末にようやく下火になり、令和4年から今までどおりの生活を回復させようというまさにこの時に、オミクロン株の全国的な流行により、再び先行きが不透明となってまいりました。このような中、大山乳業農協は会議のDX※化、リモート営業活動体制の構築や新製品開発といった新たな取組を積極的に行い、新型コロナ感染に打ち勝つ体制づくりをされたと伺っております。

一方、生乳生産の現場では、県が長年目標としておりました生乳生産量6万トンを令和2年、令和3年と達成することができましたが、新型コロナ感染による世界的な物流の混乱や中国の穀物買いだめ等による飼料高騰で、酪農家を取り巻く経営環境は厳しい状況となっております。そのうえ、年末年始にかけ全国的に処理できない生乳が大量に発生することが予想されるという生産現場としては大問題が持ち上がりました。こうした生乳を適切に処理するために、国は牛乳消費を増やすための国民運動を進め、当面の危機は乗り越えたとのことです。さらに、脱脂粉乳を飼料とすることを支援する事業や飼料高騰対策として飼料の国産化を進めるための様々な事業を国は令和4年度に向けて提案されています。

本県では、県議会議員、特に「畜産議員連盟」のご協力と平井知事の号令により、県議会議員の皆様と県職員が一丸となって大山乳業農協の在庫分のバターを約2週間という短期間で少なからぬ量を購買させていただきました。手前味噌ではございますが、こうしたスピード感を持った動きは、昨年4月の鳥取県の組織改正で畜産関係部局を取りまとめて作りました「畜産振興局」が一元的に畜産に関する様々な問題を引き受け素早く対応する体制となったことで成し遂げられた成果だと思います。生産者の皆様も何かございましたら、「畜産振興局」にご相談いただければ今まで以上のスピード感を持って要望にお応えさせていただきたいと思います。

今年の干支である「寅年」は成長や始まりの年です。創立75周年を迎えました大山乳業農協の更なる発展や酪農家の皆様が新型コロナ感染症を克服して新しい日常が始まる年となるように、更なるDXを進めるためのシステム開発の支援や自給飼料作りを県は支援させていただき、酪農家の皆さまが元気で頑張って経営できる環境作りに全力で取り組みます。

本年が組合員の皆様、職員の皆様にとって、平穏で健康に過ごしていただける年であると共に今ある事業の更なる「成長」や次に大きな花が咲く新たな取り組みを始める「発展」の年となることをご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）
データとデジタル技術を活用して、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変革させること

専務理事

## 平野　浩

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年末にようやく落ち着きかけた新型コロナウイルスの感染拡大ですが、「オミクロン株」の猛威により第6波突入へと新たな脅威に晒されています。コロナからの終息が見えない2022年の幕開けですが、ウイズコロナからアフターコロナを見据え取り組みを進める必要があります。

まずはコロナ禍で落ち込んだ牛乳の消費回復であります。昨年末、酪農乳業界を激震させた処理不可能乳問題など牛乳需要の大きな落ち込みからの回復は業界挙げての課題であります。我々としても牛乳の消費拡大は喫緊の課題であり、その対策が急がれます。今年は大消費地である都市部、特に関西地区の組織の再編整備、同時に関東市場への資源投入を行い一層の販売強化を図ります。また、コロナ禍で伸長し続けるEC事業（ネット通販）への拡充も進めます。

次に、コロナ禍をきっかけに社会生活を大きく変えたデジタル化であります。昨年立ち上げたデジタル推進課を中心に進めているプロジェクトは、大きく花を咲かせる年と考えています。ICT、IoT、AIを活用したスマート工場、スマート酪農を目指し、働き方改革を進めていきます。

SDGs（持続可能な開発目標）にも積極的に取り組みます。CO2削減を目指すカーボンニュートラルへ向けて太陽光発電を活用し、さらには省エネ化を進めます。脱プラ問題はバイオマスプラスチック等への切り替えや省資源化など、それぞれ目標項目を決め取り組んでいきます。

今年も課題多き年になりますが、専門プロジェクトチームを編成し、様々な課題に取り組んで解決策を見いだしていきます。大山乳業農協にとって、そして組合員、職員の皆さんにとっても素晴らしい年になることを祈念しご挨拶とさせていただきます。

常務理事

## 亀田　進一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より組合運営に対しまして格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、組合創立75周年を迎え、記念誌の発刊、みるく館のリニューアル等の記念事業が実施されました。また、嬉しい知らせがありました。中国地区良質生乳出荷者表彰で鳥取県が独占したことです。乳質の高さがあらためて示されました。さらに非常用発電機設備が設置され、新飼料倉庫用地の造成が始まり、年末にはゲーブル充填機の入替、新常温倉庫とみるく館来客用トイレが完成しました。しかし、一昨年に引き続き新型コロナウイルス禍の影響で各種会議・イベント等が中止されたり、延期されたりウェブ化されたりといろいろな事が制限された年となりました。

コロナ禍の影響を受けて全国の牛乳乳製品の消費が減退し、脱脂粉乳やバターは過去最大規模の在庫となっています。消費の拡大と酪農政策で国の支援の下、酪農乳業が一体となった脱粉在庫削減対策の取組が急がれます。

大山の牛乳は、「おいしい」とよく言われます。これは組合員の皆様が、しっかり生産管理された結果です。さらにそのたゆまぬ生産管理の努力を見える化した「白バラ認証制度」という価値を付加して牛乳そのものに大きな評価をいただくよう引き続き訴求していくことも必要です。今後、消費が回復した時に備え、生産基盤強化対策、良質生乳対策、飼料倉庫移転等に努めてまいります。

今年も組合員皆様のご協力とご理解を得ながら、役職員一丸となって組合員皆様が安心して酪農経営に取り組める体制づくりを目指してまいります。

令和4年が、組合員の皆様にとりまして実り多い一年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

酪農指導部 部長
山本 文彦

新年あけましておめでとうございます。今年は、昨年から続く配合飼料の高騰、粗飼料は高騰に加えコンテナ船の遅れ等による品薄が継続しています。又、昨年の自給飼料は台風被害を受け、減収、品質の低下が予想され、その他の資材、経費の値上がりも懸念され厳しい酪農経営が予想されます。

このような中ではありますが、昨年より取り組んでいる飼料倉庫の移転が、今年度末には完成の予定です。組合員の皆様の利便性の向上はもとより、共に寄り添える酪農指導部でありたいと思いますので、皆様のご支援ご協力を引き続きお願い申し上げます。

製造部 部長
竹歳 和博

組合員並びに職員の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い致します。

2022年度の製造部の取り組みとして、第8次中期経営計画2年目の目標『製造原価の低減』を重点課題として取り組みたいと考えております。昨年から原料・包材等の値上げにより各製品の製造原価が上昇しております。今年に入り、製造経費（電気・LNG）も値上がり傾向にあり製造原価率が上昇すると見込まれております。製造部としましては、生産効率アップ、ロスの削減に取り組み事業計画が達成できるよう努めてまいります。

新しい年が当組合の更なる発展の年に、また皆様にとって素晴らしい年でありますことを祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

販売部部長、
製品開発センター長
川上 一敏

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、組合員、役職員の皆様には大変お世話になりありがとうございました。

さて、本年度は第8次中期経営計画の2年目となり、引き続きコロナ禍の中で先行き不透明ではありますが、販売計画一四七億円の達成に向け「宅配事業の安定継続」「原材料費高騰に伴う商品価格の改定」そして昨年に引き続き更なる物流改革を行い、輸送費の削減を図り、利益改善の取り組みを行っていきます。

また、製品開発センターとの協働のもと、売上、利益に貢献する新商品の開発をしっかりと取り組みます。

最後に、今年も様々な課題が山積しており、大変な年なると思いますが、販売・開発が一丸となり、寅年にちなみ、強くたくましく頑張っていきますので、皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

品質管理部 部長
市村 満栄

組合員、職員の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は皆様に多大なるご理解・ご支援頂き誠にありがとうございました。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、本年は第8次中計2年目となり、製造由来再発クレームを2020年度比75％削減することを目標に製造部と共に取り組んで参ります。

また世代交代が加速する中で、蓄積された経験と取り組みを継承し、品質管理への理解と更なる発展のために教育の充実を図って参ります。

昨今食品業界を取り巻く環境は厳しく、お客様の期待に応えるべく

（次のページに続きます）

安全安心な製品をお届けするために、全員で取り組んで参ります。本年が組合にとって良い年でありますよう、また皆様にとって飛躍の年でありますように祈念致し年頭の挨拶とさせて頂きます。

総務部 部長
陰山 剛

組合員の皆様並びに職員の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は、本組合の事業運営にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと前年より続く新型コロナ感染症の蔓延、さらにその中で開催された東京オリンピックなど、記憶に残る年でありました。本組合でも、未だに活動の自粛を余儀なくされるところですが、第8次中期経営計画の初年度目標に対し一定の成果を上げることができましたのも、関係各位の多大なるご支援の賜物であると確信しております。

本年は第8次中計2年目として、引続き確実な成長を求め、一歩ずつ取り組みを重ねていかなくてはなりません。総務部では、「財務基盤の更なる強化と安定」「収益向上を目的とした設備投資等に対する安定的な資金調達とそれによる費用削減」、そして「人材育成による従業員満足度の向上」の三つの柱を掲げ取り組みます。その結果、組合の円滑な事業運営となり、かかわる人の満足度の向上に繋がるよう一人ひとり行動して参りますので、引き続きご指導、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

最後に、組合員・職員の皆様のご健勝、この一年のご多幸を祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

表彰式に出席された皆さん

製造部 竹歳部長が代表してお礼の言葉を述べられました

総務課レポート

## 令和３年度
## 永年勤続表彰式が開催されました

１２月２２日（水）、令和３年度永年勤続表彰式が開催され勤続４０年１名、勤続３０年６名、勤続２０年６名、勤続１０年９名の合計２２名が表彰を受けました。

小前組合長より、新型コロナウイルスの感染拡大により外出や食事会などの自粛が呼びかけられる中、永年勤続表彰を祝う会や職員同士の交流が思うように開催出来ないことは残念だが、改めて支え、協力してくださった家族へ感謝の気持ちを忘れず、今後も尽力してほしい、と労いと激励の言葉を贈られました。

製造部 竹歳部長より表彰者を代表して「４０年間を振り返る中で第一工場の立ち上げが一番大変だったが、この１０年ごとの表彰がとてもに励みになった」と感謝の言葉で謝辞がありました。

永年勤続表彰を受けられた職員のみなさん、おめでとうございます。皆さんの今後のご活躍をお祈り致します。

起動式のようす

起動式に参加された皆さん

製造部レポート

## 市乳ライン ゲーブル充填機入れ替えに伴う起動式が行われました

昨年12月22日（水）、大山乳業農協 牛乳・ヨーグルト工場にてゲーブル１号機の起動式が行われました。

今回は、機械の更新に伴う充填機入れ替えで、一昨年３月に新設された３号機と同様にキャップ付き紙パックの製造が可能になりました。

当日は、小前組合長、平野専務、亀田常務、製造部の竹歳部長、村本次長、総合企画室の中田室長をはじめ、機械の導入に関わった日本製紙（株）より大林常務様、大阪営業所の白井所長様、香山課長様、四国化工機（株）大阪機械包材営業部より浜田部長様、北島副部長様、齋藤係長様、岩井機械工業（株）大阪営業所より倉下所長様、荒川主任様にもご参加いただきました。

起動式は、平野専務による機械の四方祓いを行った後、小前組合長により起動ボタンが押され、白バラ牛乳１０００ｍｌの製造が開始されました。

販売部レポート

## こども食堂「えんたく」へ大山乳業のクリスマスケーキ提供

１２月１７日（金）、大山乳業農協が行う地域貢献の取り組みの一環として、とっとり子どもの居場所ネットワークえんたく様へ組合のクリスマスケーキ４５個を無償提供しました。

とっとり子どもの居場所えんたく様は、子どもの成長や子育て中の家庭を地域で支え、子どもを中心にした地域の交流の場として「こども食堂」の運営等を行っておられる団体です。

今回提供したケーキはえんたく様を通じ鳥取県内のこども食堂へ届けられました。

とっとり子どもの居場所ネットワークえんたく様と営業課 佐々木さん

総務部レポート

## 令和３年度中国五県交通安全功労者優良事業所表彰受ける

大山乳業農協は、令和３年度中国五県交通安全功労者表彰で、交通安全活動を積極的に推進し、交通事故防止に努めた優良事業所として表彰を受けました。

今年度はコロナウイルス感染症の影響で、管轄の警察署内で授与式が行われ、大山乳業農協は琴浦大山警察署にて細田署長より表彰していただきました。

皆さんこれからも引き続き、安全運転に心掛けていきましょう。

（写真右より）琴浦大山警察署 細田署長、総務課 高見課長
琴浦大山地区安全運転運行管理者協議会 高力会長

組合員の皆さんへの情報掲示板

# 指導課通信

今月のトピックス

- 暑熱対策プロジェクトチーム成果発表会開催
- 酪農功労者表彰式開催
- 女性部活動報告

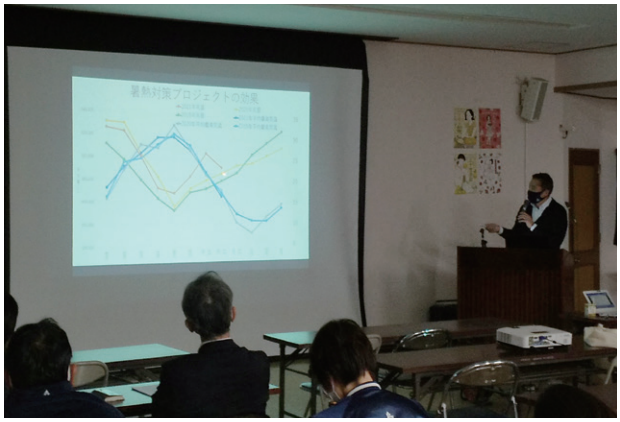
## 暑熱対策プロジェクトチーム成果発表会開催

12月13日（月）園芸試験場の講堂にて、暑熱対策プロジェクトチームの成果発表会が開催されました。プロジェクトチームの活動については、毎月酪農だよりの方で発信しておりますが、この成果発表会ではそれらの対策を行うための費用、対策を行ったことによる乳量・乳成分の動向、実際に対策を行った農家さんの感想等も取り入れたデータが各地区の担当者より報告されました。

当日は鳥取県農林水産部　畜産課課長の田中成彦様、大山乳業　亀田常務にもお越しいただき、各地区の発表終了後に御講評を頂きました。田中課長からは、「どんな暑熱対策方法が正解なのかは、牛舎の構造・環境によって違うため、場所により効果的な方法を探しながら取り組んでいく必要がある。県としても、アニマルウェルフェアの観点からも支援をしていきたい」というお言葉を頂き、亀田常務は、「昨年、年間生産量が9年ぶりに6万tを超え、今年は60400t程度の見込み。これも暑熱対策に熱心に取り組まれている組合員さん、そしてそれをサポートするプロジェクトチームの皆さんの取り組みの成果。現在全国的には生乳余剰の傾向だが、長い目で見て生産基盤を維持していくことが重要」と総括されました。

暑熱対策プロジェクトチームでは今後、今回発表された各データを取りまとめて令和4年版暑熱対策マニュアルの作成を進めていく予定です。完成し次第、組合員の皆様にも配布致しますので、今後の暑熱対策を考える上での参考にして頂けたらと思います。

成果発表会 会場のようす



成果発表の様子

県庁畜産課　田中課長

大山乳業農協　亀田常務

## 令和3年度酪農功労者表彰者並びに牛群検定表彰者（検定優秀牛表彰）の表彰状授与式が開催される

授与式は、例年鳥取県共進会ふれあい祭り会場にて受賞者を招いて実施しておりましたが、本年の鳥取県県共進会の乳牛部門の開催が中止されましたので、令和3年12月の推進員会にて開催することになりました。

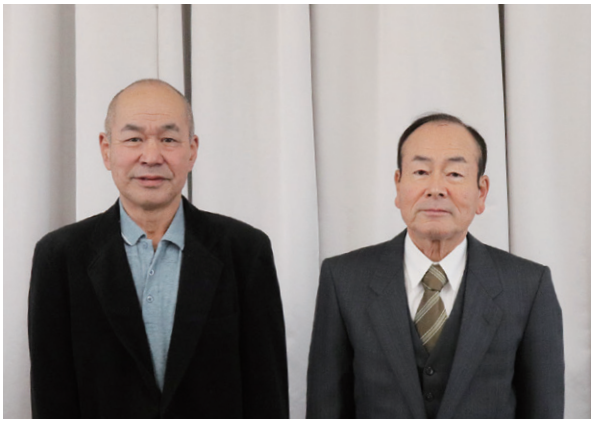
【受賞者のご紹介】

酪農功労者受賞者は、長年に亘り鳥取県酪農に尽力され、その功労が認められた方へ表彰する制度です。

| | |
|---|---|
| 大山町 | 菅原 敏明 さま |
| 伯耆町 | 桑野 一好 さま |

牛群検定表彰は以下の条件で鳥取県全域を対象に調査し選抜されました。

1. 期間2020年1月1日～12月31日に検定終了したものより、30 5日補正乳量で各検定組合から上位牛を選抜する。
2. 最新の検定情報から既存しているか確認する。
3. 搾乳期間と乳成分年平均の比較で決定する。



（写真左より）菅原さん、桑野さん

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 組 合 | 琴浦町　(株)中原牧場 所有 | | | | | |
| 名　　号 | マツカートニー ギヤラクシー コマ | | | | | |
| 登録番号 | 1392434411 | 生年月日 | 2016年01月16日 | | | |
| 父 | エンデバー コスモ ギヤラクシー ＥＴ | | | 登録番号 | JP3H55177 | |
| 検定成績 | 検定年齢 | 3歳7ヶ月 | 産次 | 2産 | 検定方法 | 立　会 |
| | 検定期間 | 2019年8月30日～2020年08月18日(355日) | | | | |
| | 搾乳回数 | 2回 | 産乳量 | 18,875kg | 乳脂量 | 676kg(3.6%) |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 組 合 | 国府町　みんなの牧場 所有 | | | | | |
| 名　　号 | 9231 ロツクステイ エトロ トイジエ | | | | | |
| 登録番号 | 1351992310 | 生年月日 | 2016年07月26日 | | | |
| 父 | WHG プルースト エトロ ＥＴ | | | 登録番号 | JP3H55468 | |
| 検定成績 | 検定年齢 | 3歳00月 | 産次 | 2産 | 検定方法 | 立　会 |
| | 検定期間 | 2019年8月23日～2020年11月10日(446日) | | | | |
| | 搾乳回数 | 2回 | 産乳量 | 17,573kg | 乳脂量 | 656kg(3.7%) |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 組 合 | 大山町　森田　雄一 所有 | | | | | |
| 名　　号 | シヨーハル オルトン クイーン | | | | | |
| 登録番号 | 1530741203 | 生年月日 | 2016年11月05日 | | | |
| 父 | パインツリー オルトン ＰＰ ＥＴ | | | 登録番号 | 72954550USA | |
| 検定成績 | 検定年齢 | 2歳11ヶ月 | 産次 | 2産 | 検定方法 | 立　会 |
| | 検定期間 | 2019年11月1日～2020年09月19日(324日) | | | | |
| | 搾乳回数 | 2回 | 産乳量 | 16,916kg | 乳脂量 | 641kg(3.8%) |

活動報告

## 各地区女性部でフラワーアレンジメント教室開催

昨年末、各地区ごとに開催されたフラワーアレンジメント教室にて、お正月を華やかに迎えるお花を生けました。昨年末は県内での感染者も少なく、和やかな雰囲気の中教室が開催されました。

西部酪農女性部(12月22日)

ミルクレディース東伯(12月27日)

品質管理通信
# おしえて！ヨーコさん
意外と知らない身近な「品質管理」

## 第９回 牛乳とみるくレシピ

新年明けましておめでとうございます。いよいよ２０２２年がスタートしました。みなさん、お正月をどう過ごされたでしょうか。まだまだコロナ禍、またインフルエンザも流行る寒い季節ですので、引き続き手洗い・うがいをしっかりしていきましょう。

寒い季節といえば、あたたかい鍋料理やスープなどが美味しい時期です。私もお味噌汁やスープが大好きで、毎朝食べています。特に具をたくさん入れるのが好きで、季節の野菜を入れ、食べるスープにしています。野菜もたくさん取れて、お腹も大満足です。

ちなみに牛乳を使ったスープも美味しいですよね。これまで酪農だよりでも紹介されたカウィーのみるく鍋もおすすめです。根菜やきのこなどたくさんの野菜と一緒に、牛乳をたっぷりいれたみるく鍋を食べて、免疫力を上げて寒い季節を乗り越えていきたいですね。

また、年末年始には牛乳の消費促進キャンペーンが話題となりました。みるく鍋だけでなく、牛乳は料理とも相性がいい素材なんです。調べてみるとたくさんの牛乳レシピが紹介されていますので、日頃から飲むだけでなく料理にもぜひ使ってください。

本年がみなさまにとって健康第一で素晴らしい年になりますように、お祈りしています。

**コープしがの組合員の皆さんより寄せ書きを頂きました！**

コープしが第５エリアの組合員の皆さんよりクリスマスケーキの寄せ書きを頂きました。

大きな紙にカラフルに飾り付けされた中に、「大山乳業さんのクリスマスケーキで今年も我が家は楽しいクリスマスになりそうです」といったコメントや「このクリスマスケーキに出会ってから我が家の楽しみが１つ増えました」といった組合員の皆様から心のこもったメッセージが添えられています。

コープしがでは、昨年のクリスマスにオリジナルケーキ「くるくる山のスノー★クリスマス」が開発され、多くの組合員の皆さんにご注文頂きました。

## 私のオススメ

酪農だよりをご覧のみなさまこんにちは！市乳課の米田です。

私がおススメするのは、所属する市乳課で毎日製造を行っている白バラ牛乳です。

私が地元出身という事もあって、幼いころからこの味に慣れ親しんで育ち、今でも毎日１リットル飲むほど愛飲しています。

日々、美味しそうに白バラ牛乳を飲むお客様の笑顔を想像しながら、製造に励んでいます。

特に、お風呂上がりの一杯は最高です！

皆さんもぜひ、白バラ牛乳のある毎日をお過ごしください！

お風呂上りの１杯は最高です！

# 大山乳業農業協同組合 からのお知らせ
Dainyu Information

## 理事会だより
理事会にて次の議案が決議されました

**12月20日提出議案**

| | |
|---|---|
| 第１号議案 | 第３四半期業務監査指摘に対する回答について |
| 第２号議案 | 11月末経営検討について |
| 第３号議案 | 令和４年度事業計画（案）について |
| 第４号議案 | 諸規程の一部改正について |
| 第５号議案 | 太陽光発電システム導入について |
| 第６号議案 | 固定資産の処分（案）について |
| 第７号議案 | 年末一時金について |

## 直売所カウィーのみるく館からのお知らせ
新発売のシュクレアがお買い得!

期間限定

### 白バラシュクレア３個セット

バレンタインにもピッタリ！ラッピングしてお渡しします

１月２１日から発売の新商品「白バラシュクレア」を期間限定の特別価格で販売致します！
新感覚のシュークリームをぜひお買い得価格でお試しください。

**発売記念特別価格**
**350円** 税込

**販売期間**
1月21日（金）～2月14日（月）

## 新商品のお知らせ
期間限定乳飲料と菓子新商品のご紹介です

NEW 1/10

### 白バラココア
500ml　1000ml

ガーナ産カカオ豆から作ったココアを使用したココアミルクです。そのまま飲んでも、温めて飲んでもおいしいココアミルクは、お好みで白バラ牛乳を加えて、ミルク多めにすることもおすすめです。
ミルクとココアが絶妙にマッチしたクリーミーでまろやかな味わいをお楽しみください。

NEW 1/21

### 白バラシュクレア
１個入り

大山乳業農協の菓子工場で、白バラ牛乳を使用したチョコクリームを炊き上げました。こんがり焼きあげたパフになめらかなチョコクリームを入れ、ほろ苦いビターチョコでコーティングしたシュークリームです。

## ホームページからのお声

■年末年始、全国的に牛乳が余るとニュースで知りました。微力ですが牛乳や乳製品を飲んで食べて応援したいと思います。（鳥取県）

■いつも安全・安心でとても美味しい商品を提供して下さり感謝しております。ネットショップで購入できるのも、とても有難いです！ありがとうございます。（千葉県）

■京都生協で白バラ製品に出会いました。先月末に念願叶い大山へ行くことができました。生協では手に入らない製品を購入できました。ありがとうございました。（京都府）

■これからも美味しさで生活に潤いを与える製品を提供してください！（沖縄県）

■鳥取県外の仲間からも、「あのコーヒー牛乳は秀逸だ」というコメントもあり、なんとなくうれしくなります。（鳥取県）

■大山バターの美味しさには感動しました。商品も豊富で今度まとめて注文しようと思っています。そんなに遠くないのでいつか行ってみたいです。（広島県）

■これからも美味しくて信頼できる商品に安心して期待して応援してます。（兵庫県）

■初めて鳥取に行った時に地元の友達から教えて貰ってから気に入ってます東京でも買えて感動しました。（東京都）

Dainyu-PICKUP!

## 酪農専門誌デーリィマンに小谷牧場（日野町）が紹介されました

特集Ⅰ　経営主と後継者のしゃべり場②

親の話に全て反応するのではなく
時には聞き流すことも必要

獣医師など交えた親子会議で互いの思いを理解する

鳥取県日野郡日野町　小谷　晋・一起さん

2013年ごろの飼料価格高騰の影響を受けて一時は廃業も考えていたという小谷牧場。後継者の小谷一起（かずき）さん（30）は就農以来、第三者を交えた親子会議などを通して親子仲が良くなるよう努めている。2022年1月には経営主の父・小谷晋（すすむ）さん（58）から経営移譲を受ける予定だ。

飼料価格高騰や乳価低迷で経営悪化

―これまでの牧場の歩みを。

晋　もともとウサギ計家畜やコメをつくる兼業農家だった。父が会社員で、母が農作業を行っており、私が子どもの頃に養牛と豚を飼い始めた。鳥取県立農業大学校を出て就農し、1987年に20頭つなぎ飼い牛舎を建てた。その後、97年にフリーバーン、2001年にフリーストール牛舎をいずれも自己資金で建て、50頭、80頭、100頭へと5年おきくらいに拡大した。フリーストール牛舎は総工費2,000万円に収まるよう、頭数や規模から材料の調達に至るまで自分で施工した。大変だったが自由を味わいて楽しかった。大きな投資はせずに少しずつ規模を整えていった。

頭数は順調に増やしていたが、労力的な限界に加え飼料価格が高くて収益の面が圧迫されるようになってしまうため、93年ごろから一部は外国人実習生を雇用した。

―一起さんは意向全面で働いた経緯は。

一起　実は、初は将来牧場を継ぐ気はなかったんです。小学、中学、高校と野球漬けで、野球中心の生活で、家業は部活から帰ってから手伝うくらい。

晋　跡を継ぐものだと周から言われて自分は育ったので、息子には私も好きだった野球を頑張ってもらいたかった。

一起　父は期待してくれたけど野球はかり切った感があった。子どもの教育に興味があり大阪青山短大学に進み、その後は大阪青山大学に編入して保育士の資格を取った。ただ、自分が持つ保育士のイメージとのギャップを感じ、また大学に編入した年に父から経営が悪化していると聞いたので、それなら中退して働こうと2013年に地元の自動車関連会社に就職した。年収400万弱を得ることは出来ず、手当たりつて酪農の手伝いをすることもあった。そんな生活を2年近く続けて、15年に就農したのは父の入院がきっかけ。周囲や周りの代でなくなるのは嫌だなと思った。

晋　その当時は国を全量購入していたので、13年ごろからの飼料価格高騰と、さらに100円/kgを下回るような乳価低迷のあおりを受けて経営が悪化した。

29

酪農の飼養管理技術と経営の専門誌「デーリィマン」の２０２２年新春特大号にて小谷牧場（日野町）の小谷晋さん、一起さん親子のインタビューが掲載されました。

今回は、「経営主と後継者のしゃべり場」と題した特集記事で、これまでの牧場の歩みと一起さんが就農に至るまでの経緯、そして就農してからの変化する親子関係を晋さん、一起さんそれぞれの視点を交えた記事になっています。

晋さんの思い、一起さんの思い、親子ならではの悩みとその解決法などを是非ご覧ください。

Dainyu-PICKUP!

## フローズンアワード アイスクリーム日本全国！名物・名店部門第１位受賞

この度、大山乳業農協のアイスクリーム「白バラコーヒーミルクバー」が株式会社日本アクセス主催の、「第９回フローズンアワード２０２１ アイスクリーム日本全国！名物・名店部門」にて第１位を獲得致しました。

フローズンアワードは、冷凍・アイス業界最大規模の総選挙で、過去最高の３２５万応募の中より一般消費者による投票で受賞が決定しました。

今回の受賞は全国のご当地アイスの頂点となる大変名誉あるものです。

今回の受賞を励みにこれからもより一層お客様に愛される商品づくりに努めていきたいと思います。

## 編集後記

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年の干支「寅」には、成長や始まりという意味があるのだそうです。巷では新型コロナウイルスの第６波への不安が立ち込めていますが、寅年の持つ意味を知ると明るい未来が待っているようで気持ちが前向きになってきますね。今年もどうぞよろしくお願い致します。

## 組合の公式ＳＮＳアカウントでも情報発信中!!

twitter　Facebook　Instagram

大山乳業農協ではホームページだけでなく、ソーシャルメディアを活用した情報発信も行っています。ぜひチェックしてみてください！

YouTube

**酪農だよりに関するご意見ご感想は大山乳業農協お問合せフォームからお寄せください**
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶

## あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます

今回は、新年特別版と題し、大山乳業で保管されていた写真をご紹介します。こちらの写真は１９７９年に鳥取県で誕生した牛「ロイブルツク ハイアー エレン」の写真です。当時の検定でこの牛が記録した生涯乳脂量８,９７８kgは、記録認定から２５年以上経った現在も破られていない日本一の記録です。


# 酪農だより vol.720

発行責任者／小前孝夫　編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社　発行日／令和４年１月20日



大山乳業農業協同組合
〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp　E-mail:email@dainyu.or.jp